



蔵のしらかし

《白樺中学校だより 第3号》

令和8年6月2日発行

文責：校長 西村 拓司



学校ホームページ

吉野山宿泊学習を終えて

文責：1年学年主任 小峠 大樹

5月21日(木)・22日(金)、吉野への校外学習を無事に終えることができました。前日までは大雨予報。どうなることかと思っておりましたが、やはり皆の願いが通じたのか、吉野駅に到着すると、すっかりと雨もあがっていました。ウォークラリーやスケッチハイキングをするには最適な天候の中、校外学習を実施することができました。初日は、多少の小雨が降ることもありましたが、連日続いていたような暑さはなく熱中症等の心配も必要ないほどでした。ウォークラリーでは、蔵王堂、吉水神社、如意輪寺、花矢倉・三郎鐘、水分神社の計5つのチェックポイントを各班で訪れました。地図を見て歩き、時には地元の人に声をかけ、班のメンバーと協力しながら進みました。疲れの見える仲間には、鞆を持ってあげたり手を繋いであげたりする人がいました。計画通りいかないことももちろんあったけれど、普段の学校生活では見ることでできない姿をみせてもらいました。夕刻、無事に宿である芳雲館に戻ってきてからは、「疲れた〜」「足痛い〜」と嘆く声もあつたりしましたが、体調不良者も出ず一安心でした。入浴後は、夕食です。皆でいただく豪華な夕食だったので、食べ過ぎてしまった人も多かったのではないのでしょうか。その後は、各班で準備したレクリエーションを行いました。事前に準備したクイズや大喜利で盛り上がり、楽しい時間を過ごしました。その後の自由時間では、男女共にそれぞれのフロアでお菓子を食べながら恋愛話に花を咲かせていたようです。二日目、朝食を済ませ、スケッチハイキングに出かけました。この日も前日の夜中に降った雨の影響か、涼しく心地の良い風が吹き本当に活動しやすい天候でした。勝手神社や東南院、「吉野建」特有の風情を描いていきました。絵が得意ですらすら描いていく人がいる一方で、描いては消し、描いては消しを繰り返し悪戦苦闘している人も多くいました。2時間以上かけて描くスケッチも良い経験になったと思います。そして宿に戻り昼食にカレーをいただきました。休憩時間にはトランプや一発芸を披露？最後まで元気満々でしたね。その後、蔵王堂に移動し学年・学級写真を撮って吉野駅に向かいました。

この2日間で「楽しかった」だけでなく様々なことを感じ、学んでくれたことだと思います。事前学習も含め、自主的・自治的な活動ができたこと、仲間と協働して活動できたことは今後の生活に繋げていってほしいと思います。そして反省も少なからずあると思います。今週から少しずつ振り返り学習を始めていますが、各々で反省点・改善点を含め、今後につながる振り返りをきちんと行っていきましょう。日常の生活から細かなことを見直していくことはもちろんのこと、来年の校外学習や三年生になってからの修学旅行に生かしてください。保護者の皆様、お弁当作りや持ち物の準備等、校外学習に関わってご理解・ご協力いただき誠にありがとうございました。



蔵王堂にて



スケッチのようす

命（ぬち）どう宝 (沖縄戦没者慰霊を込めて) 全校朝礼より

先週、3年生のみなさんが沖縄修学旅行から帰ってきました。今日は、その沖縄に関係する言葉を一つ紹介したいと思います。「命どう宝（ぬちどうたから）」という言葉です。これは沖縄の方言で、「命こそ宝」という意味です。

今から15年ほど前、私が勤務していた学校に沖縄戦を体験した「ひめゆり学徒隊」の生存者が語り部として来てくださいました。名前は、新川初さんと言います。その新川さんが語った言葉が「命どう宝」で、今も心に深く残っています。

ひめゆり学徒隊は、沖縄師範学校、第一高等女学校の2つの学校の15歳から19歳の女子生徒たち222名からなり、戦争中、陸軍病院で看護要員として動員されました。最初は「お手伝い」と言われていたそうですが、1945年3月戦地に赴くや否や、沖縄本土にアメリカ軍が上陸して、たちまちのうちに沖縄は戦場となり、毎日のように多くの命が失われる厳しい状況となりました。ここでは、その時の様子を話すことは避けさせていただきます。

6月になり、沖縄の中心部もアメリカ軍に占領されて、ついに「解散命令」が出されます。しかし当時、生徒たちは「最後まで戦うことが名誉だ」「アメリカ軍に捕まれば奴隷になって、ひどい殺され方をする。」と教えられていました。そのため、多くの若者たちが、自ら命を絶ってしまいました。新川さんも、友人8人と一緒に南の海岸に向かって逃げていました。「もしもの時は、手榴弾と一緒に死のう」と話し合っていたそうです。ある日、海岸にたどり着いた時、突然、銃を持った4人のアメリカ兵が現れました。「ついに捕まる」と思った新川さんたちは、お互いに重なり合い、手榴弾の安全ピンを抜きました。ところが幸いなことに手榴弾は不発でした。結局、アメリカ兵に捕まっていますが、決してひどいことをされることなく、水と食料を与えられ温かく接してくれたそうです。その後、日本は敗戦しますが、ひめゆり学徒隊では、240人のうち136人が亡くなっています。このうち100人以上が解散命令の後に自ら命を絶つという痛ましい最期を遂げました。

語りの最後に、新川さんは私たちに次のように話してくださいました。「今も沖縄に行けば、恩師や友達の声なき声が聞こえます。日本という国を恨むより、日本人全員が思いやりの心を持ち、戦争のない世の中を作っていくてください。戦争に限らず、どんなにつらいことがあっても、かけがえのない命を大切に、優しくできる人になってください。命を大切に、希望を失わず、強く生きてください。「ぬちどう宝（命こそ宝）」です。」

来る6月23日は沖縄戦没者慰霊の日となっています。戦争で亡くなられた方々の御冥福を心よりお祈りするとともに、みなさんも、「命どう宝」という言葉を是非、心のどこかで覚えておいてほしいと思います。

新たな防災気象情報について

2026年5月29日より、気象庁が発表する大雨や洪水などの「防災気象情報」が5段階の警戒レベルと直結する形式に新しくなりました。これにより「この情報が出たら何をすべきか」が直感的に判断できるようになっています。

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル1	早期注意情報			

(上図) 国土交通省 気象庁ホームページより引用

檳原市に大雨・洪水・暴風雨等の警報が発令された場合の措置について

1. 午前7時現在ならびに登校時に警報が発令されている場合、生徒は自宅待機とし、テレビ・ラジオの情報に注意するようにしてください。
 2. 午前9時までに警報が解除された場合は、通学路の状況・河川の増水等の安全を確認のうえ、10時30分までに登校してください。3限目からの授業を行います。給食も実施します。
- ※ 詳しくは学校ホームページ【警報発令時等の対応】をご確認ください。